

科目名	広島からの平和学:実践の方法
単位数	2.0
担当者	平和研究 教授 山田 康博
履修時期	集中講義(前期)
履修対象	1・2年
講義形態	講義
講義の目的	広島での平和の取り組みに関する一定の基礎知識を持つ学生(1,2年生が中心)が、広島平和文化センター主催の市民向け平和講座「ヒロシマ・ピースフォーラム」(全6回)のうち前期開催の3回に参加し、平和の実践活動を行っている学外の専門家から学ぶ。またサテライトキャンパスで行う大学自主企画に2回、広島平和研究所主催の国際シンポジウムに1回参加して学ぶ。
到達目標	広島での被爆問題に加えて世界の多様な平和の課題について学び、自分の言葉で説明できる(普遍的教養)。平和の実践経験をもつ専門家から、多様な平和活動について学び、自ら実践する能力を習得し、実行できる(専門的知識・技術・技能)。一般市民と共に学び、グループ討議などを通じて自分の考えをまとめ、相手に伝え、建設的な意見交換ができる(課題解決能力)。
受講要件	(1)6回の講義全てに出席可能であること。 (2)「受講の動機」について1200～1500字程度の文章を作成し、メール添付のWord文書で4月15日までに平和研究所事務室宛に提出すること(メールの表題は「広島からの平和学受講の動機」とする。アドレス:office-peace@m.hiroshima-cu.ac.jp)。提出文書の形式は自由だが、必ず氏名、学籍番号、学部学科、学年を明記すること。
履修取消の可否	可
履修取消不可の理由	
事前・事後学修	(事前学修)4月初めに学内でガイダンスを行います。開講後は、毎回事前に参考となる文献等を読み、関連ニュースや新聞記事に目を通しておいて下さい。 (事後学修)講義終了後は、期末レポート作成のため関連するテーマの文献を3冊以上読んでもらいます。
講義内容	I. ガイダンス(学内。日時・場所は事前に掲示します) II. 広島平和文化センター主催「ヒロシマ・ピースフォーラム」(計3回) 大学自主企画の講義(計2回) 広島平和研究所主催国際シンポジウム 会場: 広島平和記念資料館、サテライトキャンパス ほか 日程: 5月～7月の原則土曜日13:30～17:00に計6回。 <日程案> 第1回(5月21日)ピースフォーラム 第2回(6月4日)ピースフォーラム 第3回(6月18日)自主企画 第4回(7月2日)ピースフォーラム 第5回(7月16日)自主企画 第6回(7月18日=海の日)広島平和研究所主催国際シンポジウム III. 期末レポート作成(以下の二つの課題を出題の予定。講義で指示します) 課題(1)本講義を受講して「平和」について新たに教えられた事、気づいた事、認識を新たにした事等があれば説明して下さい。以前の自分の考え、講義で教えられた内容(講義名、講師等も含む)、そして自分の考えがどう変わったかを具体的に述べて下さい。(1000字程度) 課題(2)本講義で扱われたテーマや内容のうち関心を持ったことがあれば、そのテーマを掘り下げて述べて下さい。参考文献を3点以上用いること。(1000字程度)
期末試験実施の有無	実施しない
評価方法・基準	6回の講義に全て出席し、受講態度が良好でグループ討議にも積極的に参加する、などの平常点(60%)および期末レポート(40%)で評価します。6回の出席および期末レポートの提出は単位取得に必須です。他の講義と重複等のやむを得ぬ理由で欠席する場合は、必ず事前に連絡して下さい。配慮いたします。
教科書等	参考書: 毎回、講義に必要な資料を配布します。参考文献があれば適宜指示します。
担当者プロフィール	
講義に関連する実務経験	
課題や試験に対するフィードバック	毎回講義で質疑の時間を設けるほか、レポートについても事前に相談の時間を設ける予定です。
アクティブ・ラーニング	
キーワード	広島、平和、被爆体験証言、平和記念資料館、復興、戦争、核兵器、国際協力、国際支援
備考	会場までの交通費は各自、負担して下さい。今年度はコロナウィルス感染予防のため、履修者数の上限を30人程度とし、履修希望者が多い場合は、「受講要件」の提出文書等で審査を行います。